

常滑市立図書館基本構想

令和8年4月

常滑市・常滑市教育委員会

はじめに.....	1
01 第1部 現状の整理.....	3
第1章 基本構想の趣旨.....	3
第2章 常滑市の現状.....	7
第3章 図書館の現状.....	16
第4章 他の自治体との比較.....	37
第5章 学校図書館の現状.....	40
02 第2部 図書館のあり方の検討.....	42
第1章 図書館を取り巻く環境の変化.....	42
第2章 市民ニーズの把握.....	57
第3章 常滑市における課題の整理.....	79
第4章 基本理念・基本方針.....	88
第5章 望ましい図書館の施設.....	91
03 第3部 事業化の検討.....	107
第1章 事業費の算定条件の設定.....	107
第2章 財源の検討.....	112
第3章 事業計画.....	116
第4章 今後の検討課題.....	128
第5章 策定委員会からの提言.....	129

委員のコメント

参考資料（基本構想策定委員会設置要綱・名簿・概要、用語集）

はじめに

この基本構想は、図書館市民ワークショップや市民アンケートの結果などを踏まえつつ、常滑市立図書館基本構想策定委員会（以下「策定委員会」という。）が考える理想の図書館の姿を描いたものです。

第2部では、図書館のコンセプトである「基本理念」、また基本理念を実現するための基本的な運営の方針である5つの「基本方針」を構想するとともに、常滑市にとって望ましいと考える図書館の規模・機能を掲げました。第3部「事業化の検討」の中でスケジュールを示しているのは「新たな図書館を早期に整備して欲しい」という期待の現れです。

策定委員会の中でも、それぞれの知見から多様な意見があり、一つの意見にとりまとめることまでは難しかったことから、事業化に向けた具体的な施策やスケジュールの決定など常滑市立図書館の将来を常滑市に託し、基本構想として提言します。

1 基本理念

『 知をひらき 人を育み 地域をつなぐ図書館 』

新しい図書館をつくりたいとの思いから、図書館市民ワークショップを開催しました。メンバーそれぞれが図書館についての理解を深め、普段は顔を合わせることのない人々が集い、議論を重ねる中で、多くの新しいアイデアや気づきが生まれました。本や人との出会いが知識を重ねる機会となり、対話や経験を通じて学びが深まっていく姿は、図書館が持つ大きな可能性を示しています。

今、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、より複雑で予測が困難な時代となっています。多様な情報や価値観に触れ、自ら考え、判断し、行動する力が一層求められています。私たちの図書館は、多様な「知」に触れる機会を提供し、市民一人ひとりの学びや成長を支えるとともに、誰もが安心して過ごせる居場所となり、あらゆる世代の人を育む存在であり続けます。そして、本や仲間との出会いを通じて得た学びやつながりは、年代や立場を超えて広がり、地域社会を支え、次の世代へと受け継がれていきます。



2 基本方針

「基本理念」を実現するための基本的な運営の方針である「基本方針」を次の5つと定め、「常滑市における課題」を解決するために必要となる機能・サービスを計画していきます（第2部第4章）。

1. 「知りたい」が見つかる図書館
2. 「行きたい」場所となる図書館
3. 子供の「読みたい」を育てる図書館
4. 誰もが「使いたい」図書館
5. 「始めたい」が広がる図書館

3 常滑市における課題

第1部で、常滑市や図書館の現状などについて整理を行うとともに、第2部において、図書館を取り巻く環境の変化や市民ニーズを把握した結果、「常滑市における課題」は次の7つに整理されました（第2部第3章）。

